

地区全体説明会(2018年1月28日開催) ご意見カード及びご質問への未回答事項一覧

項番	ご質問・ご意見	市の考え方
1	平成30年1月28日(月)10:00~11:30までの予定時間の中で説明時間が11:00まで、1時間は長い。簡潔に説明をお願いします。	ご説明に関しては、「初めて参加される方もわかりやすく丁寧に」を心がけております。時間配分は、都度、考慮いたします。
2	司会者が質問に対して、専門部署に回答させた方がよいと思えます。センター長が即決するのではなく、検討委員会の中で話し合ってください。	ご質問の内容により、ふさわしい者から回答いたします。また、検討等が必要な項目につきましては、内容により適切に対応いたします。
3	平成30年1月24日(水)第31回の検討委員会の配布資料の中にありました、東南北(東西南北では?)の立面図、断面図を地区全体説明会に出席した方達にも配布して頂きたいと思えます。傍聴した方だけしか見られないのでは残念です。仕事で来られない方や高齢、病気等の方達もおられます。近隣の自治会や管理組合の掲示板にでも回覧して下さい。	藤沢市(辻堂市民センター)のホームページに基本設計の一部として掲載するため、準備を進めています。
4	体育室の非常出口が少い。緊急時のときには危険です。説明会では、想定外を考慮しないで津波は10cmしかきません。と聞きましたが、防災拠点本部なので避難所でないと言っていました。トラックを上げるためのスロープだったわけですか。津波避難ビル等にスロープ設置義務はないと打合せ記録には記載があります。1階にしてください。面積が広く使えるようになります。	基本コンセプトの一つに「防災機能の強化」を掲げています。津波に関しては、南東側の一部で、最大10cm程度の浸水が想定されています。地域の皆さんからの強いご要望もあり、1階に配置するよりも、さらに安全と安心(不安感の軽減)を強化するため、2階に配置いたしました。
5	東南西の壁面日影図時間日影図を国設計にお願いしてください。事務室は、電気をつけて仕事をするそうですが、自然採光、エコ、冷暖房費の維持費の節約も考慮して下さい。	現状の建物配置において、施設内での日影による支障はないものと認識しております。したがって、壁面日影図につきましては、作成する必要がないものと判断いたします。経費の節減につきましては、当然のこととして考慮いたします。
6	日光が事務室には、必要ない。事務室は、電気をつけるそうですので日当たりのよい南側に交流スペースを作ってください。	交流スペースは人通りの多い東側で外から見通せる位置、事務室は相談スペースのプライバシーの確保や事務効率、一方で図書室の採光などの諸条件を検討した結果です。交流スペースの位置に関するご要望に、最も適した場所に配置できたと考えております。
7	体育室の北側の窓から西日が当たり、夏は冷房費が多くなります。	体育室に限らず、直射日光を避けるためブラインド等を設置いたします。
8	カラー刷りの設計図を拝見しました。大変よく出来ていると思えました。関係皆様の様々な努力や苦勞がしのばれます。これからも、上から目線ではなく、まわりの人々の意見をよく聞き、辛抱強く、肅々と進めてください。一日も早く出来上がるのを楽しみにしています。	これまでの様々な検討の一つの集大成と捉えております。今後も、情報の提供と共有に努めてまいります。
9	日影のこと、お願いします。 ○建物を南に移動 ○建物高さの変更 ○外壁を勾配状に ○屋根の形状変更	施設の機能を確保するとともに、法的には問題がないものの、影響をできる限り最小に抑えるため、建物の高さ、屋根や外壁の形状、また建物の位置を変更いたしました。
10	・ 周辺部との調整は? ・ 商業施設との安全調整 ・ 買物弱者が多い、特に消防の前 ・ 施設の発表で説明会とは言いにくい?	全体説明会とは別に、近隣住民、近隣施設、近隣の学校などとの意見交換を実施してまいりました。今後も運用面を中心に、商業施設を含めて、協議を重ねてまいります。買い物弱者対策につきましては、新施設を「安心」の拠点として活用し、地域全体のまちづくりの観点から対策を進めてまいります。
11	現市民センターの跡地は、どうなりますか?何になりますか?返される?	藤沢市公共施設再整備基本方針に基づき、新施設建設の財源確保のため、売却を含めて検討することとしています。
12	サークル活動で体育室、ホールを借用する可能性がありますが、サークル運営の関連から、借用費用(送料)は低くしてほしい。余り金額が高くなる様なら、サークル月謝の値上げも検討しなければならないが、年金生活の方が9割なので、値上げは難しいので宜しく願います。	貸室の使用料は、今後、他の市民センター・公民館との均衡や、面積按分による公共料金の算出方法により検討を進めます。
13	現センターに消防署と防災ヒナン施設を作れると思えます。東海岸地区の方々の逃げる場所を確保してほしい。	津波一時避難場所や津波避難ビルなど、様々な防災資源を充実・活用し、辻堂地区全体の防災力強化を進めてまいります。跡地利用については、前述のとおりです。
14	この1年間の時間をかけて検討した部分があまり見受けられない。	総意の形成に向け、建設検討委員会の公開をはじめ、近隣住民や学校、福祉施設等への情報提供と共有、戸別訪問による説明などに努め、総意の形成に向け取り組んでまいりました。主な変更点は、日影の課題に関して、施設の機能を確保するとともに、法的には問題がないものの、影響をできる限り最小に抑えるため、建物の高さ、屋根や外壁の形状、また建物の位置を変更いたしました。

15	説明会があるたびに、公民館スペースが縮小され、北側のスロープ(初めからある)にこだわり、建物の面積が縮小されている。未来に向かう建物にこのスロープは必要でしょうか？スロープを使用するでしょうか？災害時の為と云っているが、AIが進んでいて、階段に車イスが上げられる機能(現存すでにある)の方が現実ではないでしょうか？	直ちに建物内部に入ることができない夜間など、障がいのある方や高齢者が高い場所に上がる手段として、地域からのご要望もあり、建物外には階段よりもスロープの設置が有効であると判断いたしました。
16	今後の進め方としては、市民にとって使いやすく、いつでも気軽に立ち寄れる(できあがってから使いづらいと云う声があがらない様)話し合いをワークショップ形式で開かれるようお願いいたします。(ワークショップはだれでも参加できる日曜日に開催して頂きたい。)テーマである「交流とふれあいの輪を広げる」を実現させるために！	運用面に関しましては、辻堂のまちづくり全般の観点から、ワークショップにとられず、多数の意見交換の場を設けたいと考えております。
17	音楽室が新しく出来る事を楽しみにしておりました。しかし、先日、サークル連絡会で音楽室にピアノが無いとの事を、初めて知り、信じられない思いでした。公民館からの返事は、「予算が無い」でした。私のまわりの人達(家族・サークル)にこの件を報告すると音楽室なのにピアノが無い、しかも予算が無いから、などという事を、納得する人は居ませんでした。	ピアノは備品となりますので、建設とは別に検討いたします。建物の構造としては、音楽室にピアノを置くことができる仕様といたしました。
18	設計段階で、音楽室を作ることが決まった時、そこにピアノを必要と考える人は、居なかったのでしょうか？もし、必要と思う人が居たらそれに対して前向きに動いている人は、居ないのですか？他の公民館には、音楽室があり、複数のピアノを置いている所は沢山あります。「予算がない」との件は、その不公平はなぜあるのでしょうか？これは、たいへん、理解できない点です。	前述のとおりです。
19	全員分文書化して報告して下さい。(無視しないで下さい)	ご意見カードのすべてを文書化いたしました。
20	問題点が多すぎる計画である。	ご意見として承ります。
21	消防署を移転させるなら、現在のセンターの方が最良である。(便利で高台で津波が来ない)	諸課題や諸条件を考慮したうえでの決定事項です。今後、消防署の移転先の議論は行いませんので、ご理解ください。
22	北側の団地が日影になることが解決されていないまま→失敗策である。	施設の機能を確保するとともに、法的には問題がないものの、影響をできる限り最小に抑えるため、建物の高さ、屋根や外壁の形状、また建物の位置を変更いたしました。
23	公民館の部屋数(特に、談話室)が増えていない。市民アトリエがなくなっている。	貸出諸室は8室から9室へ、貸出面積は595㎡から1,189㎡に拡充いたしました。また、現在利用率の高いホールが、ホールと体育室の2部屋に増えるため、利便性は向上するものと考えております。 市民アトリエについては、図面上、工作室兼談話室と示していますが、諸室の正式な名称は、今後検討いたします。
24	駐車場が当初50台と言っていたのに、たった15台～16台になっている。規模に見合っていない。	市民センター・公民館、消防出張所などの機能の優先、また緑化率等を考慮し議論を重ねた結果、一般車の駐車台数が16台となったものです。利用される皆様にご理解をお願いするとともに、運用ルールを設けてまいります。
25	テニスコートは、中学校に→今、小運動場を作っているが、そこに2面設置できる→そうすれば上記の問題点はすべて解決できる。今からでも間に合う！もう一度検討を！	テニスコートを除く面積では一体整備が不可能です。学校やテニス部の関係者にご理解をいただき、ようやく再整備が可能となりました。活動上の安全面も考慮し、計画どおり整備を進めてまいります。 なお、活動に伴う支障や面積の制限などから、学校の北側にコートを3面設置することはできません。
26	談話室が少ない。室をとるのが大変になる。今より少なくなるのは、困る。地域活動を少なくさせる事になる問題である。	貸出諸室は8室から9室へ、貸出面積は595㎡から1,189㎡に拡充いたしました。また、現在利用率の高いホールが、ホールと体育室の2部屋に増えるため、利便性は向上するものと考えております。
27	トイレは、専門家にきいてバリアフリーの良いものにする事。視覚障がいの方が使えるようその道の専門家にきいて設計するように。	一般のトイレのほかに、バリアフリーの多目的トイレを各階に配置いたします。
28	体育室へのスロープは、海に近く、住民の多く住む南側に配置すべきだと思います。このままですと、南側からの多くの避難民と緊急車輛の動線が交錯し危険です。	諸条件を考慮した上での決定事項です。今後は、津波避難訓練の充実など、運用面での検討を進めてまいります。

29	北側4m道路側に歩道を設けるべきだと思います。このままですと、交通量が増え、通学の子供達が危ないです。歩道を市道に移管すれば、敷地の緑化率の低減を抑えられます。歩道は、子供達を守る大事なインフラです。	北側等の道路につきましては、近接する自治会や施設等との協議を進めるとともに、交通量の増加など新施設による影響が確認できた後、対応策を講じてまいります。
30	南側道路から東側正面道路へ車が出るのは、大変危険です。三街区の擁壁で視線が遮られ、歩道を南側から北側へ通行する自転車との出会い頭の事故が発生します。	東側道路の歩道幅は広く、歩道上の車の通行を回避するため、駐車場の出入り口を南側に配置いたしました。交差点部分には注意を促す看板の設置などの対策を検討いたします。
31	バス停は、どちらに移設するのでしょうか。交通量が増え、緊急車輛も通るため、渋滞防止のため、バスペイの設置を望みます。市民センター入口から雨に濡れずに行ける庇を設けて下さい。	バス停の移設位置は、今後、バス事業者や警察等と協議をする予定です。バスペイと庇については、ご意見として承ります。
32	OK前交差点に右折車線を設けて下さい。理由は(前述)と同じです。	交差点が歩車分離式に変更されたため、現段階で交通の流れに課題は少ないと認識しております。 なお、周辺道路につきましては、新施設の影響が確認できた後、対応策を講じてまいります。
33	駐車場が満車の時でも雨の日は、高齢者等の送迎のために駐車場側から車が入れるようにして下さい。今のままでは、入れても奥で転回出来ず、バックで出なければなりません。	満車表示の方法をはじめ運用上の課題を整理し、対策を講じます。
34	複合化の費用対効果を市民に提示してください。	これからの人口減少を考えると、すべての公共施設を現在のまま単純に更新することは極めて困難なため、市として機能集約・複合化による施設数の縮減を図るものです。
35	駐車場の泡消火設備は、移動式に出来ませんか。泡消火設備機械室を取りやめることで、外用の開放性を増し、駐車場も2台増えます。他自治体では、可能と思いますが、藤沢市はどのようなのでしょうか。泡消火設備の設置、メンテナンス共税金からです。	移動式の泡消火器設備を検討した結果、現段階で、移動式設備の条件には該当しないものと判断しております。
36	テニスコートの子供達の安全対策、いじめ防止を具体化して下さい。保護者アンケートでは、テニスコートを東側に面するよう要望されています。	運用に関する諸課題や諸条件を、テニス部の関係者とも協議を重ねた上で配置を決定いたしました。生徒の安全対策については、引き続き協議を進めてまいります。
37	建物の設計は、妥当なものと考えます。一方、公民館機能の1つとして、イベント、まつりの開催スペースが小さく分散しているようです。消防車両の入出動線を南角に寄せることによりエントランス側(東道路)のスペースを臨時的に活用できます。北側緑地も高木中心にすることにより樹下でテント設置が可能なおのりも有効です。以上建物外のスペースの利用の視点を織り込んで下さい。	植栽等については今後の検討課題です。ご意見をいただきながら進めてまいります。 イベント等の開催スペースにつきましては、公民館のほか、周辺の施設や学校とも協力し、交流の拠点にふさわしいイベントができるよう協議を進めてまいります。
38	皆の建物、皆が使うもの。もう決まっている感じで残念です。予算がないのなら現在の建物を生かして欲しい！モラルがない。	これまでも説明会や意見交換会などを開催し、ステップを踏みながら情報の提供と共有に努めてまいりました。 費用については、ご要望のある必要な機能を盛り込みながらも、経費節減に努めてまいります。
39	大磯町立図書館に入居している大磯町消防団第11分団の例もあります。複合施設として消防出張所との複合化は大きな特色となります。市民との交流スペースの運用の検討に加えることができます。期待している具体的な案件と考えますので、前向きな検討をお願いします。	地域の皆さまをはじめ、近隣の学校や施設などとも協働し、複合施設のメリットを生かして、辻堂の名にふさわしい街づくりの拠点となるよう、議論を重ねたいと考えております。
40	機能集約・複合化について、素人にも分かりやすい前・後のポンチ絵を作成して下さい。	わかりやすい資料の作成に心がけてまいります。
41	検討のプロセスが、本当に住民の合意形成に向けて、市議会議長声明にあったようなことができたかどうか。	総意の形成につきましては、それまでの取り組みでの不十分な部分の反省を踏まえ、建設検討委員会へ北側の自治会代表者にご参加をいただいたり、戸別訪問などでご意見をうかがったりなど、積極的に取り組んでまいりました。
42	先に進むというのは、これは本当に私自身が実務者として心配しています。評価、どんな評価を使っていますか。	基本設計は、これまでの様々な検討の一つの集大成と捉えておりますので、特段の評価は行っておりません。